



第86期 株主通信

2022年4月1日から2023年3月31日まで

株式会社大本組

証券コード：1793

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第86期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)事業年度が終了いたしましたので、株主通信をお届けし、その概況をご報告申し上げます。

今後とも倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 三宅 啓一



■ 第86期の業績について

第86期(2023年3月期)における建設業界は、公共投資が引き続き堅調に推移し民間設備投資にも持ち直しの動きが見られたものの、競争の激化や建設資材の価格高騰などにより、厳しい収益環境で推移しました。

こうした中、当社は、技術力、提案力等の総合力の更なる向上と安定的な収益基盤の構築を目指して積極的な営業活動を展開してまいりました。

これらの結果、売上高は前期比32.6%増の944億77百万円、受注高は前期比6.0%減の859億79百万円となりました。

一方、利益面につきましては、建設資材の価格高騰の影響などにより、営業利益は前期比75.2%減の5億80百万円、経常利益は前期比66.6%減の8億49百万円、当期純利益は前期比71.1%減の5億16百万円となりました。

■ 第87期の見通しについて

第87期(2024年3月期)におきましては、当社はリスク管理を徹底し、これまで築いてきた信用と健全な財務力などを一層強化するとともに、人財育成に注力し、事業環境の変化に柔軟に対応できるよう、引き続き総合力の更なる向上を図ってまいります。

また、「品質・安全・コンプライアンスの確保を第一とし、収益力の強化を図るとともに、本業を通じて広く社会に貢献する」ことを基本方針とする中期経営計画(2021年度~2023年度)を着実に実行することで、技術優位性の構築を進めるとともに、サステナビリティに係る取り組みを一層強化し、働き方改革、生産性向上など喫緊の課題解決を全社的に推進してまいります。

2023年6月

完成工事実績

主な完成工事〈建築部門〉



グンゼ株式会社 守山工場 新工場増築工事



イオンスタイル天王町新築工事



DPL岡山空港南B棟新築工事

主な完成工事〈土木部門〉



H30東関道川尾地区函渠工事



和泉中央丘陵地区(トリヴェール和泉) EC23、24、25街区宅地開発工事



令和4年度大分港(大在西地区) 岸壁(-9m) 築造工事

トピックス

ESGへの取り組み

当社は、健全な建設事業の経営及びESGへの取り組みを通じて社会的課題の解決に貢献するとともに、継続的な企業価値の向上を目指しています。

取り組み

01 ICT技術による生産性向上

i-Constructionへの取り組み BIM/CIMによる建設プロセスの高度化

建設プロセスに3次元モデルを導入し、関係者間の情報共有を容易にするとともに、建設生産施工管理の効率化及び高度化を図る技術で、様々な現場で導入を進めています。

■ トンネルの掘削管理

トンネルの掘削状況(切羽及び側面)をLiDAR(3Dスキャナー)で計測し、現況と設計断面とが異なる部分を、プロジェクションマッピングにより、カラーコンター画像として可視化することで、トンネル切羽直下での測量作業の低減が可能となり、施工の安全性向上と、掘削管理の精度向上を図っています。



取り組み

02 暮らしを守る

スマート制震システム関連技術 遠隔外付け・変形追従減衰附加構法

地震エネルギーの吸収性能が明確なオイルダンパーを組み込んだ制震ブレース架構を建物外部に離隔設置した構法で「使いながら・住みながら」の施工が可能です。

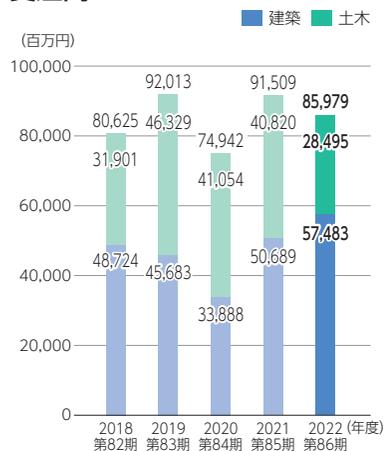
■ 大学施設の耐震改修工事

既存建物内部への影響が少なく、且つ校舎に必要な耐震性能を満たす等のニーズに沿って「スマート制震システム」「ディスクアンカー」及び「プレミアムアンカー」技術を提案し採用されました。一般財団法人バタリービングの個別評定を取得し、技術条件を満足するとともに、圧迫感の無い内観とすっきりした外観デザインを両立しています。

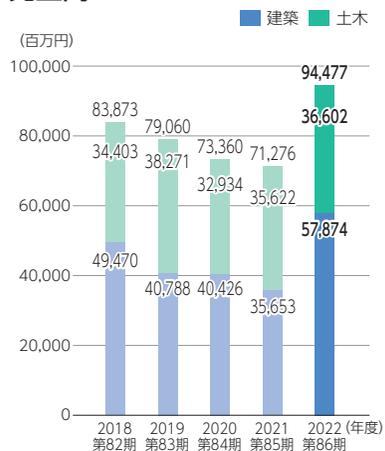


財務ハイライト

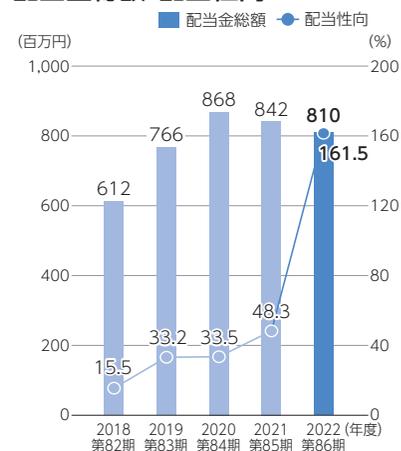
受注高



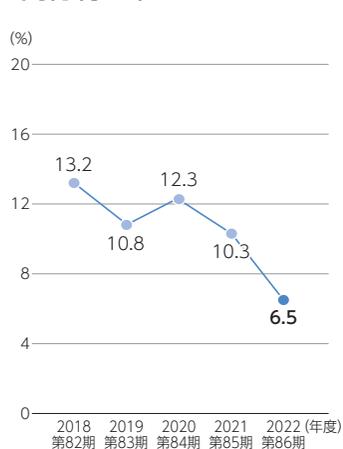
売上高



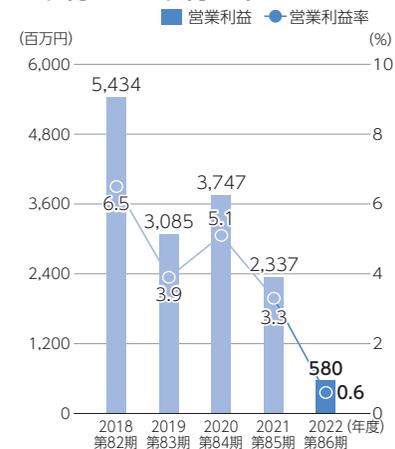
配当金総額・配当性向



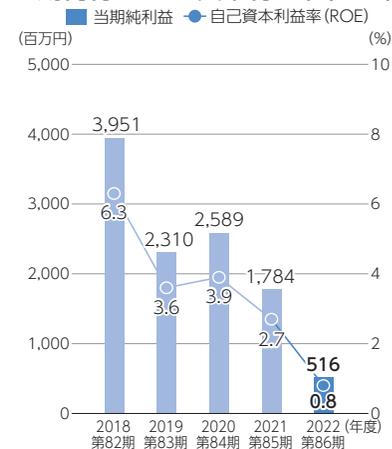
売上高総利益率



営業利益・営業利益率



当期純利益・自己資本利益率 (ROE)



会社情報

▶ 会社概要 (2023年3月31日現在)

社名	株式会社大本組
創業	1907年1月1日
会社設立	1937年12月19日
資本金	52億96百万円
従業員数	810名
事業内容	1. 建築事業 5. 不動産開発事業 2. 土木事業 6. 技術開発事業 3. 浚渫事業 7. 建築土木コンサルタント事業 4. 埋立事業
本店	〒700-8550 岡山市北区内山下1丁目1番13号
本社	〒107-8514 東京都港区南青山5丁目9番15号 青山OHMOTOビル

▶ 株式の情報 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数	24,900,000株
発行済株式の総数	5,132,380株
株主数	884名

▶ 取締役・監査役 (2023年6月27日現在)

代表取締役社長 執行役員社長	三宅啓一	取締役	光岡敬一
取締役 専務執行役員	大藤強	取締役	河野裕行
取締役 専務執行役員	青木一也	常勤監査役	吉岡敬二
取締役 常務執行役員	富塚照彦	監査役	田村政志
取締役 常務執行役員	五十嵐裕	監査役	植村義人
取締役 常務執行役員	福武栄一		

▶ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所

公告掲載方法 電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL : <https://www.ohmoto.co.jp/kessan/koukoku.html>

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



<https://www.ohmoto.co.jp/>

